

小津安二郎監督作品などを楽しむ 第25回小津安二郎記念・ 蓼科高原映画祭

9月17日から25日の9日間にわたって第25回小津安二郎記念・蓼科高原映画祭が開催されました。コロナ禍で、3年ぶりの開催となった上映会では、茅野市民館と新星劇場を会場に、小津監督作品や話題作など20作品が上映されました。ゲストによる舞台トークなども行われ、訪れた全国の映画ファンを楽しませていました。

24日には、記念セレモニーと短編映画コンクールの表彰式が行われました。短編映画コンクールには、過去最多の167作品の応募があり、入選した監督の皆さんは、誇らしげな表情で賞状や記念トロフィーを受け取っていました。



永明寺山をもみじの森に 永明小学校5年生 もみじ植樹

9月27日、永明寺山公園近くの永明小学校学有林で、永明寺山ふれあいの森を創る会と永明小学校5年生が、もみじの植樹を行いました。児童たちは会員の指導を受けて、高さ約2メートルの「イロハモミジ」を9本植えました。大きな苗木を協力しながら、楽しそうに植樹している様子が見られました。

今回の活動は、茅野ロータリークラブから創る会へ贈呈された活動支援金の一部を活用して行われ、茅野ロータリークラブの役員も活動に参加しました。



茅野市のまちづくりに役立ててほしい 株式会社テラヤマから寄付

9月21日、造園業を営む株式会社テラヤマ（埼玉県川口市）と同社の寺山樹生社長が茅野市に300万円を寄付しました。テラヤマとしては、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用して150万円と一般寄付で50万円、寺山社長は個人として、100万円を寄付しました。

寄付金のうち企業版ふるさと納税の150万円は、日本陸上競技連盟第3種公認更新に向けた茅野市運動公園陸上競技場の改修工事などに活用します。一般寄付の50万円は、茅野市のまちづくり事業全般に活用します。



子どもたちの努力・工夫を表彰 茅野市統計グラフコンクール 表彰式

9月1日、茅野市統計グラフコンクール表彰式が茅野市役所で開催され、金賞・銀賞を受賞した6名が今井市長から表彰状を受け取りました。

同コンクールは、統計の知識を広めること、統計を表現する技術を高めてもらうことで、統計を身近に感じてもらう、統計の必要性や重要性を広く理解してもらうことを目的に毎年行っています。

今年は47作品の応募があった中から、第1部（小学校1・2年）、第2部（小学校3・4年）、第3部（小学校5・6年）において金賞、銀賞が1点ずつ選ばれました。また佳作には16点が選ばれました。

金賞・銀賞を受賞した作品は、QRコードからご覧いただけます。



「若者に選ばれるまち」の実現に向けて 「若者に選ばれるまちプロジェクト研究」スタート

9月16日、株式会社キッツ、学校法人先端教育機構事業構想大学院大学と連携した人材育成事業「若者に選ばれるまちプロジェクト研究」がスタートしました。25名の応募の中から選考された10人の研究員（製造業等の社員、若手経営者、大学生、茅野市職員等）が下平拓哉同大教授から「任命書」を受けました。

プロジェクト研究は来年3月までの約7か月間、20回の研究会を行い、研究員それぞれが地域課題の解決につながる事業構想計画を完成させます。



災害時に迅速な行動をとるために 茅野市総合防災訓練

9月4日、茅野市総合防災訓練が実施されました。訓練は、糸魚川-静岡構造線断層帯（南側中部）を震源とする内陸性直下型地震（震度7）の巨大地震が発生したことを想定して行われました。

各地区の自主防災組織は、住民が集まらずにできる住民の安否確認や一時避難所開設などを実施しました。茅野市は、災害対策本部を設置し、職員安否確認等初動対応訓練や基本避難所の開設訓練などを実施しました。

災害時に迅速な行動をとることができるよう、本番を想定して訓練に取り組んでいました。